

法学部A方式Ⅰ日程・文学部A方式Ⅱ日程・経営学部A方式Ⅱ日程

## 3 限 選 択 科 目 (60分)

科 目	ペー ジ	科 目	ペー ジ
政治・経済	2～23	日 本 史	24～37
世 界 史	38～57	地 理	58～67
数 学	68～70		

## 〈注意事項〉

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないこと。
2. 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
3. 試験開始後の科目の変更は認めない。
4. **数学**は志望学部・学科によって解答する問題が決まっている。問題に指示されている通りに解答すること。指定されていない問題を解答した場合、採点の対象としないので注意すること。なお、以下の注意事項も参照すること。
  - ・解答を導く途中経過も書くこと。
  - ・解答はおもて面に記入すること(裏面は採点の対象にならない)。
  - ・その他、解答用紙に記載された指示にしたがい解答すること(この指示どおりでない場合は採点の対象としない)。
  - ・定規、コンパス、電卓の使用は認めない。
5. マークシート解答方法については以下の注意事項を読みなさい。

## マークシート解答方法についての注意

マークシート解答では、鉛筆でマークしたものを機械が直接読みとって採点する。したがって解答はHBの黒鉛筆でマークすること(万年筆、ボールペン、シャープペンシルなどを使用しないこと)。

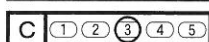
## 記入上の注意

1. 記入例 解答を3にマークする場合。

(1) 正しいマークの例



(2) 悪いマークの例



} 枠外にはみださないこと。

○でかこまないこと。

2. 解答を訂正する場合は、消しゴムでよく消してから、あらためてマークすること。
3. 解答用紙をよごしたり、折りまげたりしないこと。
4. 問題に指定された数よりも多くマークしないこと。

# (日 本 史)

〔 I 〕 つぎの文章を読んで、下記の問いに答えよ。

8世紀には大宝律令が完成し、律令制度による政治の仕組みが整えられていった。その過程において交通路や行政区画<sup>a</sup>の整備も進んでいったものとみられている。また、元明天皇が奈良盆地北部の平城京<sup>b</sup>へ遷都した。

平城京の北部中央には平城宮が位置しており、そこには天皇の住居を中心とする内裏をはじめとして、政務や儀礼の場である [ 1 ] ，二官・八省などの諸施設がおかれた。京内には貴族・官人や庶民が居住した。左京・右京にはそれぞれ市司の管理のもとに市が設けられ、地方からもたらされた品々や、官吏に対して支給された物資が交換された。錢貨<sup>c</sup>の鑄造も行われ、政府は [ 2 ] を発布するなどしてその流通をめざした。錢貨は平城京の造営に携わった人々にも支給されたが、畿内を中心とした地域の外では、稲や布などの物品による交易が広く行われていた。

地方の国府には政庁(国衙)や役所群、倉庫群、国司の居館などがおかれ、地方政治の中心となっていた。国の下には郡がおかれ、郡家は国府に似た構成の施設を有していた。都と地方の間には駅路<sup>d</sup>が整備され、国内には枝道として郡家を結ぶ伝路が設けられていた。民衆は各種の負担のうち調・庸を中央政府におさめたが、それらを都まで運ぶ運脚の義務を負っていた。また、民衆は兵役も負担しており、各地で徴発された兵士は諸国の軍団で訓練を受けたほか、宮城の警備に当たる [ 3 ] となったり、防人<sup>e</sup>となる場合もあった。

中央政府は国衙を中心とした地方支配を進めるとともに、支配領域の拡大にもつとめた。7世紀半ばには日本海側に淳足柵・磐舟柵を設け、 [ 4 ] がさらに北方の蝦夷との関係を結ぶなどしていたが、この時点では本格的な支配が東北地方に広く及んでいたわけではない。8世紀になると、軍事行動によって制圧<sup>f</sup>的な政策が推し進められるようになった。日本海側には [ 5 ] 国がおかれ、秋田城がきずかれた。太平洋側には陸奥国がおかれ、多賀城がきずかれ、東北経営

の拠点となった。いっぽうで、南九州地方には713年に  国がおかれ、  
隼人に対する帰服政策が進められるとともに、政府と薩南諸島との交易も始めら  
れた。

問1 空欄  ～  に入るもっとも適切な語句を以下のア～ネか  
らそれぞれ一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- |       |          |         |
|-------|----------|---------|
| ア 衛士  | イ 坂上田村麻呂 | ウ 半済令   |
| エ 正倉院 | オ 常陸     | カ 新貨条例  |
| キ 仕丁  | ク 大野東人   | ケ 豊楽院   |
| コ 下野  | サ 文室綿麻呂  | シ 大隅    |
| ス 出羽  | セ 薩摩     | ソ 朝堂院   |
| タ 日向  | チ 肥後     | ツ 蓄銭叙位令 |
| テ 蔵人  | ト 越後     | ナ 阿倍比羅夫 |
| ニ 北辺坊 | ヌ 檢非違使   | ネ 撰銭令   |

問2 下線部 a に関連して、古代においては全国を畿内・七道に行政区画したが、  
以下のア～エの国のうち畿内に含まれないものを一つ選び、その記号を解答  
欄にマークせよ。

- ア 大和国      イ 河内国      ウ 摂津国      エ 丹波国

問3 下線部 b に関連して、以下のア～エを遷都した年代順にもっとも古いもの  
(1)からもっとも新しいもの(4)までならべ、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 近江大津宮      イ 飛鳥浄御原宮      ウ 平城京      エ 藤原京

問4 下線部cに関連して、以下のア～エの記述のうち誤っているものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 和同開珎から乾元大宝までの12種類の銭貨は皇朝十二銭とよばれている。

イ 『続日本紀』によれば、708年に武蔵国秩父郡から銅が献上されたことを受けて、年号を和銅と改めた。

ウ 富本銭は和同開珎をさかのぼる時期に鑄造されたものと考えられている。

エ 洪武通宝、宣徳通宝はともに奈良時代から平安時代にかけて鑄造された銭貨である。

問5 下線部dに関連して、以下のア～エの記述のうち誤っているものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 駅路は基本的に都と地方の国衙を結ぶ道路として整備された。

イ 駅路には約8キロごとに駅家が設けられていた。

ウ 駅路は大路・中路・小路の3種に区分されていた。

エ 駅路の駅家では、公務で往来する官吏だけが駅馬を借りることができた。

問6 下線部eについて、80字以内で説明せよ。句読点も1字に数える。算用数字は1マスに2字記入してもよい。

下書き用(横書き, 20字×4行=80字)→


問7 下線部 f に関連して、蝦夷の首領である伊治砦麻呂による反乱に関する記述として正しいものはどれか。以下のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 蝦夷の反乱軍が紀広純を倒して多賀城を焼亡させた。
- イ 蝦夷の反乱軍が元慶の乱を起こして秋田城などを焼亡させた。
- ウ 蝦夷の反乱軍が征東大使紀古佐美軍を胆沢地方で破った。
- エ 蝦夷の反乱軍が征夷大將軍坂上田村麻呂に対して降伏、帰順した。

〔Ⅱ〕 つぎの文章を読み、下記の問いに答えよ。

近畿地方やその周辺部では、鎌倉時代の後期から、領主による支配の単位である [ 1 ] や公領の内部に、いくつかの村が生まれ、南北朝の動乱のなかで、各地に広がっていった。このような自治的な村は、<sup>a</sup> [ 2 ] とよばれた。

室町時代の [ 2 ] は、村民の会議である [ 3 ] の決定に従って、おとな・ [ 4 ] などとよばれる指導者によって運営された。 [ 2 ] は、農業生産に必要な山や野原などの共同利用地を確保するとともに、灌漑用水の管理をおこなった。また、領主へ納める年貢などを [ 2 ] がひとまとめにして請け負う [ 5 ] もしだいに広がっていった。

強い連帯意識で団結した [ 2 ] の構成員は、 [ 6 ] の免職や年貢の減免などを求めて一揆を結び、強訴・ [ 7 ] といった実力行使をしばしばおこなった。また、 [ 2 ] の有力者のなかには、守護と主従関係を結んで [ 8 ] となるものも現れたため、領主の現地支配は次第に困難になっていった。

[ 2 ] は、時には [ 1 ] ・公領の枠を越えて連合した。このような勢力が大きな武力となって中央の政界に衝撃をあたえたのが、1428年の [ 9 ] の土一揆である。この時の土一揆は、徳政を要求し、京都の [ 10 ] ・ [ 11 ] などの<sup>c</sup>金融業者をおそって、<sup>d</sup>質物や売買・<sup>e</sup>貸借証文をうばった。

1441年の [ 12 ] の土一揆では、数万人の一揆構成員が京都を占拠し、室町幕府はついにその要求を受けて徳政令を發布した。<sup>f</sup>

問1 空欄 [ 1 ] ~ [ 12 ] に入るもっとも適切な語句を、以下のア～ネのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- |      |       |       |       |        |
|------|-------|-------|-------|--------|
| ア 散村 | イ 惣村  | ウ 郷村  | エ 莊園  | オ 地侍   |
| カ 百姓 | キ 莊官  | ク 弁官  | ケ 土倉  | コ 米屋   |
| サ 酒屋 | シ 蔵屋敷 | ス 沙汰人 | セ 奉行人 | ソ 逃散   |
| タ 寄合 | チ 評定  | ツ 引付  | テ 地下請 | ト 地下検断 |
| ナ 応永 | ニ 正長  | ヌ 嘉吉  | ネ 永享  |        |

問2 下線部 a に関連して、北朝の天皇を、以下のア～エのなかから一人選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 後醍醐天皇      イ 後小松天皇      ウ 後亀山天皇      エ 後村上天皇

問3 下線部 b に関連して、室町時代の農業に関して述べた文として正しいものを、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 畿内や西日本一帯では、粟を裏作とする二毛作が普及した。
- イ 室町幕府によって新田開発が積極的におこなわれ、耕作地が広がった。
- ウ 手工業の原料として、苧・桑・楮・漆・藍が栽培された。
- エ 深耕用の備中鋤、脱穀用の千歯扱が考案され、生産性が上がった。

問4 下線部 c は、ある将軍の代始めにおきた。この将軍を、以下のア～エのなかから一人選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 足利義持      イ 足利義教      ウ 足利義満      エ 足利尊氏

問5 下線部 d に関連して、室町時代の徳政に関して述べた文として、正しいものを、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 室町幕府は、それまで質入れ、売却した御家人領を無償でとりもどすことを認める永仁の徳政令を発布した。
- イ 分一徳政令とは、土一揆の圧力に押された寺院や神社が独自に発布した徳政令のことである。
- ウ 金融業者は、室町幕府と結びつき営業税を納めていたが、徳政一揆によって打撃を受けた。
- エ 私徳政とは、債務額の一部を納入することを条件に、債務の破棄を認めることである。

問6 下線部 e に関連して、室町時代の貨幣に関して述べた文として誤っているものを、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 日明貿易によって、大陸から永楽通宝がもたらされた。
- イ 輸入銭に加えて、粗悪な私鑄銭が流通するようになった。
- ウ 年貢や公事を銭貨にかえて納入させる銭納がおこなわれた。
- エ 幕府によって銭貨が鑄造され、西国で流通するようになった。

問7 下線部 f の機構に関して述べた文として誤っているものを、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 管領は、将軍を補佐する中心的な職で、侍所・政所などの中央諸機関を統轄した。
- イ 侍所の長官(所司)は、赤松・一色・山名・京極の4氏から任命されるのが慣例であった。
- ウ 奉公衆は、古くからの足利氏の家臣、守護の一族、有力な地方武士などから編成された。
- エ 鎌倉府には、長官の鎌倉公方を補佐する関東管領がおかれ、今川氏が任じられた。



〔Ⅲ〕 つぎの文章を読んで、下記の問いに答えよ。

関白に就任した豊臣秀吉は  令を発した。これは、戦国大名が互いの領土を奪い合うための戦闘を停止し、その裁定を、天皇から委ねられた秀吉に任せるよう宣言したものであった。

このときから約2年半後、秀吉は、新築した聚楽第に  を迎えて歓待し、大名には、天皇と秀吉への忠誠を誓わせた。また、百姓が弓・槍・鉄砲、そのほか武具の類いを所持することは堅く停止する。百姓の持つ武具類をすべて取り集めて進上せよ。これら集めた武具はけっして無駄にはしない。すなわち、大<sup>1</sup>仏建立の釘・鏝<sup>かすがい</sup>とするよう命じる。こうすれば武具類を使った紛争がなくなり、百姓は現世だけでなく来世までも救済されると述べて<sup>2</sup>刀狩令<sup>2</sup>を発した。こののち豊臣政権は、<sup>3</sup>朝鮮出兵<sup>3</sup>に向けて  令を公布し、武家奉公人が百姓・町人になったり、百姓が商人・職人になることを禁じて全国的な家数・人口調査を実施し、軍役の徴発・徴収にもとづく身分制秩序を築いた。

問1 上記の文中の空欄  を漢字3文字で答えよ。

問2 上記の文中の空欄  を漢字2文字で答えよ。

問3 下線部1で大仏建立が開始された寺院の所在地はどこか。その国名を以下のa～eのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a 摂津                      b 河内                      c 近江  
d 大和                      e 山城

問4  の空欄に入る天皇はだれか。以下のa～dのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a 後水尾天皇      b 後陽成天皇      c 正親町天皇      d 霊元天皇

問5 下線部1の寺院に寄進された鐘銘の解釈をめぐって引き起こされた合戦を何というか。以下のa～eのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a 賤ヶ岳の戦い      b 姉川の戦い      c 小牧・長久手の戦い  
d 大坂冬の陣      e 関ヶ原の戦い

問6 下線部2の法令が公布された前年に秀吉によって発せられた法令がある。その法令の名称を以下のa～dのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a 喧嘩停止令      b バテレン追放令  
c 海賊取締令      d 太閤検地令

問7 問6の法令にもっとも関係の深い人物を以下のa～dのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a 長宗我部元親      b 北条氏政  
c ルイス＝フロイス      d 李舜臣

問8 下線部3の文禄の役の際、秀吉は名護屋に本陣を築いて15万余の軍勢を朝鮮に派兵したが、名護屋城の築かれた国はどこか。以下のa～eのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a 肥前      b 長門      c 尾張  
d 対馬      e 筑後

問9 豊臣政権で政務の中枢を担当した腹心の家臣を五奉行というが、以下のa～eのなかから**五奉行でない人物**を一人選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a 浅野長政      b 石田三成      c 福島正則  
d 長束正家      e 増田長盛

問10 豊臣政権末期に政務を総覧した有力大名を五大老というが、以下の a～e のなかから**五大老でない人物**を一人選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a 前田利家                      b 毛利輝元                      c 宇喜多秀家  
d 上杉景勝                      e 小西行長

問11 刀狩令のなかで、百姓は農具さえ持って耕作を専らとすれば、子々孫々まで長久である、と述べているが、17世紀後半になると百姓の農業生産への意欲は、技術の向上をめざす農書の成立となってあらわれる。以下の a～d の農書のうち**17世紀後半の成立でないもの**を一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a 百姓伝記                      b 広益国産考                      c 会津農書                      d 農業全書

〔IV〕 つぎの文章 1～3 を読んで、下記の問いに答えよ。

1. 1880年代に、紡績業などの軽工業を中心に機械技術の導入が本格的に始まった。鉄道業でも企業設立ブームが起こり、海運業も政府の奨励政策のもとで発達した。1900年前後から、軽工業に遅れて、重工業も発達を始めた。官営の八幡製鉄所が操業を開始し、民間の製鋼会社の設立も進んだ。日露戦争後には、満州、朝鮮、台湾との貿易が日本経済に占める役割を拡大した。たとえば、満州との貿易では、 の輸出や  の輸入が増大した。一方で、工業に比べて農業の発展はゆるやかだった。
2. 第一次世界大戦は、日本に好景気(大戦景気)をもたらした。ヨーロッパ、アメリカ、アジアへの輸出が好調となり、貿易収支は改善した。世界的な船舶不足から海運業や造船業が成長し、輸入が途絶したため、薬品・染料・肥料などの化学工業も発達した。鉄鋼業では、 によって鞍山製鉄所が設立されたほか、八幡製鉄所の拡張も行われた。大戦景気のもとで工業が発達したことにより、工業生産額が農業生産額を上回った。
3. 震災手形の処理に関する議会審議の中で、大蔵大臣片岡直温が  の経営悪化に言及したことから銀行への取付け騒ぎが起こり、金融恐慌が発生した。若槻礼次郎内閣は巨額の不良貸出を抱えた台湾銀行を救済しようとしたが、そのための緊急勅令案が  で否決されたため総辞職した。金融恐慌を沈静化させた田中義一内閣に次いで成立した浜口雄幸内閣は、緊縮財政方針をとり物価を引き下げ、日本経済の国際競争力を強化しようとした。そのための一つの方策として、同内閣のもとで金輸出解禁が行われた。

問1 下線部 a に関連して、鉄道業の発達についての説明として、**誤っているもの**を以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 1888年に鉄道国有法にもとづいて山陽鉄道会社が設立された。
- イ 1889年に東海道線(東京・神戸間)が全線開通した。
- ウ 1889年に民営鉄道の営業キロ数が、官営鉄道の営業キロ数を上回った。
- エ 1891年に日本鉄道会社が上野・青森間を全線開通させた。

問2 下線部 b に関連して、1885年に設立され、1893年にインドへのボンベイ航路を開いた会社を、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 三菱汽船会社
- イ 日本郵船会社
- ウ 共同運輸会社
- エ 東洋汽船会社

問3 空欄  ・  に入るもっとも適切な語句の組合せを、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア  大豆 ・  米
- イ  砂糖 ・  綿糸
- ウ  綿布 ・  大豆粕
- エ  緑茶 ・  生糸

問4 下線部 c に関連して、1880年ごろから1910年ごろまでの農業および農村についての説明として、**誤っているもの**を以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 生糸の輸出が増加したため、綿花の栽培がさかんになった。
- イ 小作地率が上昇を続け、困窮した下層自作農の小作人への転落が進んだ。
- ウ 金肥が普及し、品種改良も行われ、単位面積当りの収穫量が増加した。
- エ 農業生産から離れ、小作料収入に依存する寄生地主が増加した。

問5 下線部 d に関連して、第一次世界大戦中の日本の貿易あるいは貿易収支に関する説明として、**誤っているもの**を以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア アメリカへの生糸の輸出が増大した。
- イ 1915年から1918年までの間、毎年輸出超過だった。
- ウ ヨーロッパへの軍需品の輸出が増大した。
- エ 1914年から1919年の間、毎年輸入額が減少した。

問6 空欄  に入るもっとも適切な会社名を、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 南満州鉄道株式会社
- イ 東洋拓殖会社
- ウ 三井合名会社
- エ 住友合資会社

問7 下線部 e に関連して、第一次世界大戦中の日本の工業に関する説明として、**誤っているもの**を以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 欧米からの輸入に頼っていた発電機、旋盤、電気機関車の国産化が進んだ。
- イ 工業原動力に占める電力の割合が増加した。
- ウ 重化学工業の生産額が、工業生産額の30%に達した。
- エ 重化学工業への投資が集中したため、紡績・製糸業が衰退した。

問8 空欄  に入るもっとも適切な銀行名を、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 十五銀行
- イ 川崎銀行
- ウ 東京渡辺銀行
- エ 第百銀行

問9 下線部 f の台湾銀行に関する説明として、正しいものを以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 台湾開発のために日清戦争開戦直後に設立された。

イ 普通銀行として設立されたが、台湾における紙幣発行権を有していた。

ウ 第一次世界大戦中に鈴木商店への融資を拡大した。

エ 重要産業統制法の下での不良企業整理の過程で閉鎖された。

問10 空欄  に入るもっとも適切な機関名を、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 大蔵省           イ 枢密院           ウ 企画院           エ 元老院

問11 下線部 g の浜口雄幸内閣で大蔵大臣を務めた人物ともっとも関連の深い事件を、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 亀戸事件       イ 十月事件       ウ 甘粕事件       エ 血盟団事件

問12 下線部 h の金輸出解禁に関する説明として、**誤っているもの**を以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 金輸出は1917年以来禁止されていた。

イ 100円=49.85ドルの旧平価で金輸出を解禁した。

ウ 金輸出解禁の実施により実質的な円安となり、輸出が増大し、輸入が減少した。

エ 世界恐慌の影響も受けて、金輸出解禁後、不況が深刻化した。